

真人の風

第 62号(不定期)
(令和 6年5月25日)
(全戸配布)

地域づくり62号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002



祝小千谷市制施行70周年記念式典

小千谷市制70周年記念式典が令和6年5月1日(水)午後3時より小千谷市民会館大ホールにおいて執り行われました。(写真提供 小千谷市)

【祝市制施行70周年】 新谷梨恵子(農業者功労) 羽鳥 正一(地方自治功労) 記念式典功労者表彰

この式典において小千谷市褒章条例に例に基づく農業振興功労者とし、新谷梨恵子氏時之島が、農業者の6次産業化の支援や女性活躍の推進に寄与し地域農業の振興に尽くしたとして表彰されました。

新谷氏は、「小千谷市褒章条例に基づく褒章を受章させていただきました。50周年の際に当時の関市長と対談させていただいてから20年が過ぎ、この間取組んできたことに今回、素晴らしい賞をいただきました。心から感謝申し上げます。これからも更なる成長ができるように頑張ります。」とコメントをいただきました。



受賞される新谷梨恵子氏

また、この度の市政施行70周年特別表彰の地方自治功労者とし、羽鳥正一氏(中山)は消防団員として40年以上の永きにわたり消防団員の指導育成と団の充実強化に尽くしたとして表彰されました。

羽鳥氏は、「この度、地方自治功労

者として特別表彰をしていただきました。消防団の機関員時、地元消防団員のチームワークの良さが思い出されます。特に特別消防団での会議は有意義でした。消火活動時に自宅を全焼して財産を失ってしまう姿を目の当たりにし、絶対に火災事故はださないぞと心に刻んだことを覚えています。最近熊が頻繁に出没していますが、火の取り扱いにも十分注意して行きましよう。」とコメントをいただきました。ご両名ともご受賞おめでとうございます。



受賞される羽鳥正一氏

なお、70周年特別表彰では、本田剛氏(平沢1・桂平出身)が小千谷市議会議員として20年の永きにわたり地方自治の興隆に尽くしたとし、地方自治功労の受賞をいたしました。



祝小千谷市制施行70周年記念式典

市政施行70周年からの Re:START

「市民総参加の未来づくりに挑戦！」

市民総参加のプロジェクト

「みんなの一步で、未来づくり大作戦」

市政懇談会「市長と車座トーク」を開催します(19時開始~約1.5h)
5月29日(水) 真人ふれあい交流館・6月13日(木) 若栃集落センター

ビジョンプラン 実践取組みの検討 ビジョンプラン実践委員会

10年後を見据えた真人里地区の将来プラン実施に向けた2年目の取り組みについて、実践委員会を5月23日(木)の午後から開催しました。農業及び活性化について、分科会ごとにさらに詰めていきます。詳細につきましては後日報告をさせていただきます。

また、今年度の重点取り組みとして、「コミュニティバスの導入」について早期にまとめ、真人里地振興協議会へ提言したいと考えています。他地区では公共交通の廃止に伴い、コミュニティバスの運営や乗り合いタクシーの導入などが検討され、いずれかの方法で実施されています。

真人里地区では公共交通バス路線の廃止となる状況に現在はありませんが、バス路線から離れた集落や地区もあり、交通不便者には良い環境とはなっていません。路線バスへの接続や病院、交流館などへの循環バスとしての運行で利便性を高めたい。

り、「コミュニティバスの空き時間を活用したデイホームや健康体操、買い物ツアーなどの送迎や運行などへの活用が考えられます。地域の移動支援・買い物支援策とした導入に伴う運営・組織化について取り組んでいきます。



まっこのキャットレースは
もっとホットに
キラッとまっぞ！

みんなが地域への頑張りを

長岡地域振興局 農林振興部

令和5年度 事業トピックス③
中山間地域農業の維持発展



ほ場地図を見ながら地域の営農継続に向けた話し合いの様子



廃園した旧真人保育園を活用した「解放デー」では地域のこどもたちが大はしゃぎ

新潟県長岡地域振興局 令和5(2023)年度 事業報告ダイジェスト

住んでよ | 訪れてよ | の地域を目指して



旧機那サフラン酒本舗 鐘絵蔵 -長岡市- 山本山 菜の花畑 -小千谷市- 見附今町・長岡中之島大辰合戦 -見附市- 道の駅「越後出雲崎 天領の里」 -出雲崎町-

新潟県長岡地域振興局の令和5年度「事業報告ダイジェスト」で真人里地区が取組むビレッジプランで将来プランへの実践事業の活動が紹介されました。長岡農林振興部の管内では、現在4地区が取り組みを行っています。

ビレッジプラン(真人里地)
取組が紹介されました

県では、中山間地域における営農の継続や集落機能の維持に向け、関係機関・団体とともに推進チームを結成し、地域活性化活動を支援しています。

支援対象地区の現状分析や住民主体の活動組織づくりなどを通して、地区の将来像を描いた「将来プラン」の策定と実践を支援します。

現在、長岡地域では右の地域において、段階に応じた支援を行っています。

- ・ 小千谷市真人里地地区
- ・ 長岡市大積地区
- ・ 長岡市入東谷地区
- ・ 出雲崎町上地区

小千谷市真人里地地区では、将来プランを①営農継続できる取組、②共助活動によるまちづくり、③活力ある地域づくりの3つのカテゴリーに分け、今年度は営農部門と活性化部門として活動を行いました。



農村集落の機能を維持し 持続可能な農業農村地域を創る



真農会事務所

真人地域資源保全会は、地域農業の保全や持続的な農業活動が行われるように、新たに啓蒙看板を真農会事務所に設置しました。
ビレッジプラン(真人里地地区)が進める農業への課題解決の取組みも考慮され、連名で記名されたほか「もっとホットにキラッとまっと」のキャッチフレーズも入れていただきました。

啓蒙看板設置
真人地域資源保全会



田植えも進みました
「まっと米」収穫も期待

ビレッジプラン実践委員会農業分科会でも引き続き真人地区の米づくりに取り組んでいきます。
来年度に向けた無人の草刈り機導入の支援を進めていきます。ご理解ご協力お願いします。
「用水は大丈夫」
昨年の渇水の影響でしょうか、田んぼに水を入れると水持ちが悪かったりなどは、昨年のひび割れの影響で耕盤の先までひび割れが伸びたのでしょうか。
また、天水田では、ため池に水もなかなか代掻きもできないなどの話も聞きました。

買物ツアー実施

今年はコミュニティバス導入に向けた実証実験として、買物ツアーを7月から11月までの5か月間で月に一回の実証実験を取組む予定で検討します。詳細は事後の会報誌(真人の風)でお知らせします。

買物ツアー予告

- 実施日 7月5日(金)
- 時間 9時30分 交流館発
- 参加定員 9名(原則真人里地対象)
- 申込み先 真人ふれあい交流館
- 電話 86-3002
- 申込内容 町内・名前・送迎の有無
- 申込み期限 7月2日
- 交通費 1人1名(300円程度)

※6月25日までお知らせしますが、開催日まで時間がありませんので、参加の方は事前に受け付けます。



水あるの

耕運はしたけど

代掻きはしたけど

ましたが、どのくらい田んぼに影響が出ているのでしょうか？

真人の風

(令和6年5月25日)
(全戸配布)

お知らせ版 13号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

町内会長会議

& 真人地区町内会長
協議会懇親会

5月1日(水)に開催された小千谷市制70周年記念式典に先立ち、令和6年度町内会長会議が小千谷市民会館で実施され、主だった事業や制度の説明がありました。これにより、小千谷維持管理事務所(県並びに市建設課への道路・河川の今年度要望)についてまとめ、今月末に提出となっております。



真人地区町内会長協議会では、市政70周年の記念祝賀会の後に、真人町のまるいちさんの会場を移し、真人地区町内会長協議会の懇親会を行い、情報交換と懇親を深めました。

真人町里地

振興協議会総会

令和6年4月26日(金)午後5時から真人ふれあい交流館において真人町里地振興協議会の総会が開催され、議長に藤巻政一氏を選出し、前年度事業報告と本年度の事業(案)について審議がされ、承認並びに議決がされました。

なお、令和6年度の事業計画(案)及び予算案に先立ち、議案第4号で令和6年度役員報酬改定が会則第24条により上程され、会長報酬について年額25万円が35万円に改定されました。(副会長及び理事報酬は据え置きです。)

会長並びに理事の皆様を中心に役員が務めてまいります。住民の皆様にはご協力につきましてよろしくお願ひします。



会計報告する丸山事務員



藤巻議長

真人町里地役員・

官公所合同親睦会

真人町里地振興協議会の総会後に引き続き官公所(小中学校、駐在所、郵便局)欠席、JAミナミラザの来賓を交えた合同の親睦会が開催され交流を深めました。

来賓の方々からご挨拶をいただきました。今年度新任の来賓の方を紹介いたします。



南小学校 郷 正樹 校長



南中学校 今井基春 教頭



なお、今年度振興会行事での天神囃子のご披露に羽鳥勝弥千三町内会長がデビューし、一年間の特典をいただきました。今後よろしくお願いいたします。

【高齢者学級開校式】

令和6年度の小千谷市公民館事業による高齢者学級の開講式が4月24日(水)に真人ふれあい交流館で開催されました。高齢者学級は年間6回の開催を予定しており、今回の開講式では、明治安田生命保険の安田営業所長による「わたしと家族の『そとぞく』」について講話が行われました。



受付では血管年齢&野菜摂取率の測定が行われました。興味本位で測定を受けた田中市議は、「やはりと言いか当然と言いか野菜の摂取率は平均以下でした。しかし、ほかに測定した方もほとんどが平均以下の数値とお聞きし勝手に安心をいたしました。」と話していました。



南中学校全校遠足

In 真人地区

南中学校では、全校遠足を実施する「ねらい」を①縦割り班で協力しながら活動を行い、絆を深めるとともに他の生徒の良さを見つける。②ふるさとを知り、その素晴らしさを再認識して、自分が暮らす地域に誇りと愛着をもつ。③郷土の環境を自らの手できれいに保とうとする態度を育てる。とし、今年度は5月2日(木)に真人地区への遠足を実施しました。

当日は、真人沢水路橋、円蔵寺、まるいち、真人小学校跡地、藤巻医院をポイントに全行程12kmをゴミ拾いながら歩きました。昼食会場に真人ふれあい交流館に立ち寄り、地域の一品に「豆ノ助」さんの豆腐チーズケーキをいただいた後に、瀧澤振興協議会長より「真人地域についての講話」を聴いていただきました。生徒は、天気の良い中を元気に歩きました。



真人ふれあい交流館 会長講話



「お知らせ」

地域の花植え

市ノ沢花壇・花植えの日

市ノ沢花壇・花植えの日
 花植えボランティアの日
 場所 市ノ沢クラブ前
 開催日 5月28日(火)
 時間 午前9時00分～

みなみ花壇・花植えの日

みなみ花壇・花植えの日
 場所 地域福祉Cみなみ前
 開催日 5月30日(水)
 時間 午前9時00分～

※ご都合のつく方はご参加ください

市政懇談会開催

宮崎市長から市政の説明後、「市長と車座トーク」で小千谷の未来について語り合う市政懇談会が開催されます。皆様の参加をお待ちしています。

○真人里地区

開催日時 令和6年5月29日(水)
 午後7時～8時30分頃
 開催場所 真人ふれあい交流館

○真人北部地区

開催日時 令和6年6月13日(木)
 午後7時～8時30分頃
 開催場所 若柵集落センター

※ご都合をつけてお出かけください。

熊出没注意!!

引き続き、熊の出没情報が増えています。特に集落の家屋近くで目撃もされています。熊に遭遇しないよう、安全対策を心がけてください。

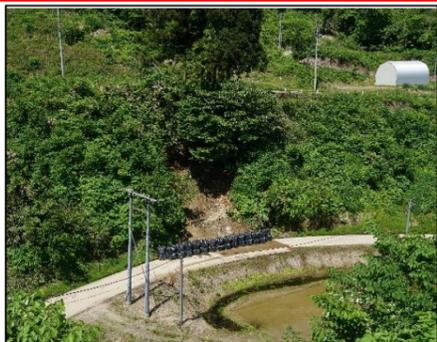


上のQRコードから、小千谷市のホームページ内の「クマに注意してください」が見ることができます。

市道通行止め

源藤山線

市道源藤山線(若柵～源藤山)は土砂崩壊の危険性から通行止めとなっています。



若柵地内の市道源藤山線と一級河川真人沢川の交差点から若柵側約30m地点の県道と市道の間、山腹が崩落しています。土砂は撤去されていますが、梅雨時期を迎えて今後も崩落箇所が危険なために交通止めとなっています。ご注意ください。

河岸段丘ウォーク

交流館休憩所

4月29日月・祭日に開催された信濃川河岸段丘ウォークの50km(津南発と25km(旧川西発)コースの休憩所とし、真人ふれあい交流館が休憩所の指定となり、市から豚汁配布の委託を受け、冷たい麦茶と豚汁が参加者に無料で配布されました。

真人の豚汁はおいしいとの評判で、役員の方食賄いの豚汁まで振舞われました。振興協議会理事、保健推進委員、デイホームスタッフ等の役員の皆様には暑い中大変お疲れさまでした。アイスも売れました。

なお、山山おぢゃくる会場の豚汁配布については、若柵未来会議の皆様が2千食の豚汁配布に奮闘しました。お疲れさまでした。



真人ふれあい交流館駐車場

豚汁作りも大変!!



アイスも売れました



おぢゃ〜る会場で豚汁の提供を行う若柵未来会議の皆さん。次から次へと人の列が切れない。写真提供 市文化スポーツ課



【編集後記】

平成30年11月25日に第1号の会報誌をA4判面面で発行をしました。当初は不定期の発行で回覧にて配布しましたが、令和元年の7月10日号から全戸配布としました。

業務にもなじんできましたので令和2年1月10日発行の第10号よりA3面面として記事の量を増やし、表面には地域づくりに関するものを掲載し、裏面では地域の出来事などを掲載しました。11号以降は経費節減のため色紙に白黒印刷で発行しましたので、グラフの掲載などでは表示方法に苦労をしました。

令和3年6月25日発行の第27号から小千谷市にカラー印刷機インクジェットが入りましたのでカラー版として発行をすることができ、編集が楽になってきました。その後掲載記事が増えてきましたので、令和5年4月25日発行の第49号からA3面面で2枚の発行としました。1枚は地域づくりに関する記事の掲載、もう一枚はお知らせ版として第1号を発行して現在に至っています。発行は不定期としていますが、広報誌が発行となるのに合わせて月一回の定期発行に努めています。

一方的に周知やお知らせを記事として発行してきましたが、当初から住民皆さんの反応がわからなかったところを気にかけておりましたが、多くの皆様に見て頂いたり、最近では声をかけられることも増えたり、わざわざ電話で声を聞かせていただくなど張り合いをもつことができました。今後は住民の皆さんの声も増やして継続したいと考えています。(次号に続く 渡邊)